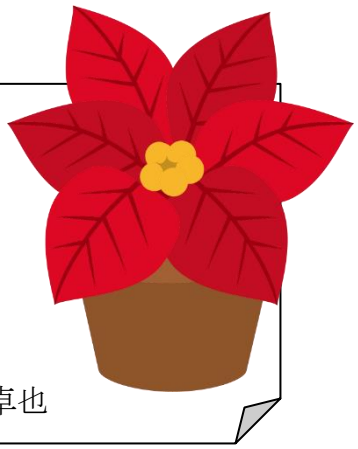
長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ75

12月 今日の一言

５．１２．７　校長　渕上　卓也



「なかよし集会」で話したこと

１２月４日から、国連が定めた「人権デー」である１２月１０日までの一週間を「人権週間」として、各地で様々な取組が行われています。本校では各学級での指導と併せ、本日「なかよし集会」を開きました。その時伝えた私の思いを少しだけ、紹介させてください。

「人権とは『みんなが、生まれた時からもっている、しあわせになる権利』です。だから、滑石小学校が、『なかまに　めぐまれたしあわせな学校』であることは、当たり前なのです。

ところが、最近気になることがあります。それは『ちくちくことば』です。相手の気持ちを考えず、平気で使っている人を見かけます。言われて悲しい気持ちになった人はもちろんですが、校長先生は、『ちくちくことば』をつかっている人を見ると、『かわいそうだな。』『助けてあげたいな。』と思うのです。『ちくちく言葉』は、言われた人だけでなく、言った人の『しあわせのばけつ』も空っぽにしてしまいます。だれも幸せにならない『ちくちくことば』を止めませんか。無くしませんか。『言葉を大切にする！！』　みんなの『しあわせのバケツ』をいっぱいにするために、みんなを助けるために、今、校長先生が大好きな滑石っ子に、一番伝えたいことです。」

「一秒の言葉」　作　小泉　吉宏

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に、
一生のときめきをかんじることがある。

「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に、
人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で、
勇気がよみがえってくることがある。

「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で、
しあわせにあふれることがある。

「ごめんなさい」
この一秒ほどの短い言葉に、
人の弱さをみることがある。

「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が、
一生の別れになる時がある。

一秒に喜び、一秒に泣く。
一生懸命、一秒。